



「富国歩み初メ」の図（明治13年著）

この浮世絵は、当時、我が国に輸入された主要商品をあらわしている。
この絵には、「舶来品で商業や工業を興すことは、国や自分の利益になることであると思われるが、
実際には、知らず知らずのうちに国の利益を損い、国命を縮めることになるので、国産品をもって商
業や工業を興さなければならない」旨の添書がある。

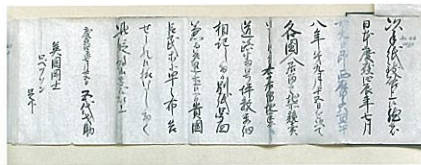


神戸外国人居留地模型 (神戸市立博物館蔵)

明治30年頃の居留地を再現、建物数は約350棟。中でも香港上海銀行、サミエル・サミエル商会、デラカム商会等の建物が著名である。

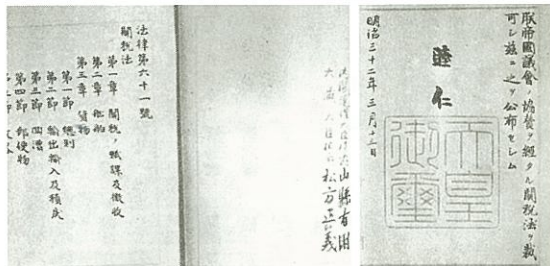


神戸外国人居留地設計図 (明. 3、神戸市立中央図書館蔵)
イギリス人土木技師、J.W.ハート設計。



居留地競売通告文 (神戸市立中央図書館蔵)

居留地は、200坪から600坪の126区画に分け、競売4年7月から明治6年2月まで4回にわたって競売された。第1回の競売では36区画が売れ、100坪平均価額が255円であった。



開税法の制定 (明. 32. 3)

幕末に締結された不平等条約を改める新条約に合わせ、我が国の貿易の実情と諸外国の法規を参考として作成され明治32年8月4日から施行された。